

東海第二原発の事故に備えて
「原子力防災の学習会」と「安定ヨウ素剤の配布会」を開催します
～常総生協組合員による自主配布会～



2月10日（日）、常総生活協同組合（茨城県守谷市）にて、組合員を対象に、「原子力防災の学習会」と「安定ヨウ素剤の配布会」を行います。

2011年の福島第一原子力発電所事故の際は、180km離れていても茨城県南部は放射能による汚染状況重点調査地域となり、地元の生産者も組合員も大変な思いをしました。常総生協は「命」にとって大切な「食」を守るため、母乳、食品、土壌、空間線量の調査、子どもたちの甲状腺検査を実施し、2012年からは80kmの距離にある東海第二原発運転差止訴訟を起こしています（現在裁判中）。しかし昨年11月、原子力規制庁は、稼動40年で運転終了となるはずだった東海第二原発の20年運転延長を認可しました。

先月1月30日には東海村の原子力施設での放射能漏れが報道されました。核施設がある限り、原子力防災の知識と備えを持つことは喫緊の課題です。今回は兵庫県篠山市原子力災害対策検討委員の守田敏也氏を迎えて「原子力防災」について学び、被曝による甲状腺がんを未然に防ぐことができる「安定ヨウ素剤」を医師より配布します。放射性物質は県境を越えますが、「ヨウ素剤」は30km圏内の自治体が配布するにとどまっています（篠山市のみ30km圏外）。改めて、安定ヨウ素剤を持つ意味を考えます。ぜひご取材ください。120世帯約600人分を配布予定です。

日時：2019年2月10日（日） 13:15～15:15（13時より受付）
会場：常総生活協同組合（茨城県守谷市本町281）
講師：守田敏也氏
「原発事故が起きたら・・・安定ヨウ素剤を飲んでとっとと逃げよう！」
主催：常総生活協同組合、脱原発とくらし見直し委員会

【お問合せ先】 常総生協 電話：0297-48-4911 FAX：0297-45-6675
メール：coopjoso56@gmail.com 担当：木本さゆり